



小牧市におけるモデル事業の検討体制 及び総合相談窓口の設置場所案

令和2年11月25日

小牧市 健康生きがい推進課

本市におけるモデル事業の検討体制

高齢者の就労・生きがいづくり支援を一体的な事業推進を目指し、協議、検討、評価を行うため、以下のような推進体制をとる。

小牧市高齢者健康生きがい推進支援事業検討委員会

- ・ 事業の方向性の決定
- ・ 事業の進捗管理

検討状況報告
事業提案

方針等の決定・指示
見直し・改善

モデル事業事務局

統括：健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

実務者会議

【関係機関】

市民活動ネットワーク、小牧市社会福祉協議会（ボランティアセンター）
シルバー人材センター、ハローワーク

【行政】

健康生きがい支え合い推進部：健康生きがい推進課・支え合い協働推進課
福祉部：地域包括ケア推進課・福祉総務課

- ・ 連携のあり方
- ・ 事業の企画・実施
- ・ 関係機関等との連携推進

小牧市民

高齢者・就業者

まだまだ働きたい

これまでの経験を活かしたい

地域の役に立ちたい

新しい仲間と知り合いたい

相談

よろず支援拠点
～ワンストップ窓口～

活動拠点

多世代交流プラザ
(市民交流テラス)
=活動の場

市民交流テラス ワクティブこまき

人材育成

相談者ニーズ及び地域課題に応じた人材育成を協働実施

情報提供

ボランティア・地域活動から就労まで幅広い情報を一元化

相談支援

常駐・スポットによる相談窓口を開設(ワンストップ)

退職者向けセミナー

職場見学会
職業体験会

企業説明会

生涯学習
人材育成
講座

地域活動
マッチング

イベント
開催

シルバー人材センター

ハローワーク

社会福祉協議会

市民活動ネットワーク

小牧市

1. 3年間でめざす姿

福祉的な活動に問わず、高齢者個々の状況に応じて、就労からボランティア活動に至るまでのきめ細かな情報を、ワンストップで適切に情報提供できる体制が整い、就労や地域活動を通じた生きがいづくりの支援につながる。

2. 事業計画

《R2》

- ・ニーズ調査等の実施
- ・協議会の設置・開催（2回程度）
- ・総合窓口の設置（就労からボランティア活動までの情報を一体的に提供する総合窓口の開設）

《R3・4》

- ・ニーズ調査等の実施
- ・協議会の設置・開催（2回程度）
- ・総合窓口の設置（就労からボランティア活動までの情報を一体的に提供する総合窓口の開設）
- ・就労体験会、説明会の開催
（協力企業を募集し、現役労働者及び高齢者を対象とした体験会・説明会を開催）
- ・ボランティア活動の「場」の提供
（各種機関が連携し、ボランティア及び人材養成を行い、その活動の受け皿を提供）

□ 退職者向けセミナー・職場見学会・職業体験会

- ✓ 産官連携により企業への働きかけ
- ✓ 地方創生包括協定締結事業者等の協力のもと、実施
- ✓ ハローワーク、シルバー人材センターと連携した企画

□ 企業説明会（企業へのはたらきかけ）

- ✓ 退職前の従業員を対象としたセカンドライフセミナー等の開催

□ 人材養成講座、地域活動マッチング

- ✓ 社会福祉協議会（地域支え合い推進事業）が実践してきた地域ニーズを踏まえた人材養成講座の実施
高齢化により高まってきている市民ニーズに資する講座を開催
- ✓ NPO法人、市民活動団体等と連携した事業展開

□ イベントの開催

- ✓ 生きがいづくり、地域活動・ボランティア活動等に資するイベントを実施

テーマ案：コミュニティビジネス

withコロナ時代市民活動、ボランティアのあり方 など

3. 事業期間

- ・愛知県モデル事業は、令和2年度から令和4年度の3カ年
- ・本事業については、これからの地域社会において、必要不可欠な事業であることを踏まえ、県のモデル事業終了後も、引き続き、この事業の取組みを基本として、事業の充実に努める。

4. 目指す成果

「**その人らしい** 生きがいづくりの支援体制の強化」

○**その人らしさ** とは、人それぞれ。

⇒ 多種多様な相談をワンストップで受け付ける窓口（多機関が連携して運営）

- ・相談のしやすさ（分かりやすさ）：ワンストップ窓口・・・相談件数
- ・生きがいづくりへのマッチング：就労、ボランティア、市民活動・地域活動（人材育成）
・・・マッチング件数